

凜とした姿の卒業生そして在校生

学校最大の行事は言うまでもなく卒業式です。教務として全体練習の指導を統括してきた橋本教務は、式の時「凜とした姿」をするようにと徹底してきました。その言葉は子ども達に浸透し、当日は外の風の音を忘れるぐらいに全員が式に集中していました。

卒業生一人一人の決意表明では、家族への感謝、将来の夢、中学校でがんばることなどを発表してくれました。会場にいる者全ての視線を受け、発表するのは緊張したことでしょう。無事に言い終わり、演台の前に立つ時はどこかほっとしたように見えました。お別れの言葉では言葉に思いをのせ、保護者の方や在校生に語りかけたり、精一杯歌ったりとする姿に、多くの方が涙されたのではないのでしょうか。最後まで集中を切らさずに凜とした姿を見せてくれた卒業生の皆さん、そして在校生代表の5年生は、西部小学校の伝統を引き継ぐという気概が伝わってきました。6年生全員がこの場に集えたことは、保護者の皆様のご協力なしではあり得ませんでした。皆そろって卒業式を祝えたことを職員一同大変感謝しております。

最後になりましたが、保護者代表として古賀様にお言葉をいただきましたことにお礼申し上げます。

卒業生の皆さんのますますのご活躍を願っております。

たくさんのお花をありがとうございました

学校に花を持ってくる習慣は今あまりないようですが、子どもの頃はよく祖母から持たされて教室に飾ってもらっていたことをよく覚えています。新聞にくるまれた花を大事そうに持っていく子ども達の周りには、柔らかな光が漂っているように感じます。お陰様で学校全体が華やかな雰囲気になりました。

《お花を持ってきてくれた児童》

1年 加藤りょうが

2年 古賀らいむ 中島みく 加藤なな
無津呂かいと 中野はづき 宮下かえで

3年 富石りほ

4年 山中ゆづき



前日準備を頑張った5年生

前日は穏やかな天気。明日の雨を心配しながらも生き生きと働いていたのは5年生でした。どの先生からも「5年生がよく働いてくれた」との言葉が聞かれ、こちらも嬉しくなりました。

きっと良き6年生になってくれると確信しました。



在校生からの素晴らしい贈り物

卒業式に先立ち、1～4年生とのお別れ式が行われました。1～4年生にとっては卒業式と同じ気持ちで臨みました。

当日は、ビリーブを美しい声で歌い上げる姿を正面から見ていた6年生。子ども達の真剣な眼差しに答えるように、堂々とお礼の言葉を体育大会で団長を努めた御厨さんと岡本さんが述べてくれました。間違いなく、翌日の卒業式も頑張ろうという気持ちを引き出してくれました。

卒業式と一緒に参加して6年生をお祝いできていたらどんなに素晴らしい雰囲気になったのだろうと思えるレベルでした。素晴らしい頑張りでした☆

